



絵：大野麻衣（美術）

かじき木だより

静寂の音の中で

校長 黒木 浩二

Hello, darkness my old friend.
(ここには闇闇、僕の古い友よ)
I've come to talk with you again.
(また君と話をしに来たよ)
Because a vision softly creeping.
(だって幻影がそっと忍び寄り)
Left its seeds while I was sleeping.
(寝ている間に種子を残していったから)
And the vision that was planted in
my brain still remains.
(そして心に植え付けられた幻影は
今も息づいている)
With in The sound of silence.



私のテニススタイル

PTA会長 西溜 道徳

もうすぐ50歳。趣味は硬式テニスです。この前まで、中学生左手、高校女子楽勝、高校男子でも本気を出せば勝てる、と根拠のない自信がありました。去年、高校3年男子（K高校No.1）とダブルスで試合をして玉碎。ボールの速さについていけず、老化を自覚しました。最近はアスリートテニスを卒業し、コニカルテニス化している状況です。私が、テニス始めたのは30歳過ぎてからのことでした。高校時代に痛めた腰痛が突然再発。動けず会社にも行けず、病院で電気マッサージをした後、さらしを巻いてもらつてなんとか通勤が可能になりました。原因は、若さへの過信による不規則な生活、運動不足。仕事がデスクワークだったのも輪をかけました。

一念発起して、市の運動ジムに通いましたが、効果なし。金銭の痛みを伴わない人間は死にならないもの。そこで、週一回土曜日早朝のインドアテニススクールへ入会。雨による中止もなく、エアコンもあれば勝てる、と根拠のない自信がありました。高校3年男子（K高校No.1）とダブルスで試合をして玉碎。ボールの速さについていけず、老化を自覚しました。最近はアスリートテニスを卒業し、コニカルテニス化している状況です。私が、テニス始めたのは30歳過ぎてからのことでした。高校時代に痛めた腰痛が突然再発。動けず会社にも行けず、病院で電気マッサージをした後、さ

の時でした。美しい旋律、透明感のある歌声、そして默示録を思わせる歌詞。すっかり虜になりました。そのせいか、まどろむまでのひととき、夜の静寂の中でものを思うことが好きになりました。自分のことや人のこと、過去のことや未来のこと、楽しいことや辛いこと、さまざまな想念が心に浮かび、それにつきあうことに親しみを持つようになったのです。大学時代は一人の夜は過ごすことが多くなります。私も例外ではありませんでした。一人の夜は自然と本や音楽が友となりました。そしてまどろむまでの想念のひとときも……。それは今も続いています。私は内向的で暗い人間なのでしょうか。そうではありません。内向的で繊細な面も併せ持つた人間という方が正確なかも知れません。世の中を単純に割り切ることがで

きたら……。時としてそう思うこともあります。最初はそう思う自分を疑つたりもしました。しかし時とともにその思いは私の中で確かなものとなり、今でははつきりとう思います。「あのころケータイがなくてよかった」と。学生時代、東京に行くと、混雑した電車の中で多くの人々が本を読んでいる姿を見て驚いたものでした。最近は違います。十人中七人はスマホに釘付けです。先日、出張で訪れたときもそうでした。一杯になつた頭にさらに情報を詰め込もうとしているのでしょうか。電車の中でも誰かとつながつていていいのでしょうか。その中で一人、岩波新書に目を落とす初老の紳士が目に入りました。そこだけ静かな時間が流れているように思われました。

職員紹介

P.2~5

第31号
2013.7.19
加治木高等学校
PTA発行

〒899-5214
鹿児島県姶良市加治木町
仮屋町211番地

各部及び生徒会より
P.6~7

P.8

ブレーザーたちでした。私は実業団10部でオジサンティニスの仲間入り。10部とはいって、結構ハードなものでした。鹿児島に帰ってきて、数年のブランクを経て、国分のクラブで現在もテニスを続けています。テニスの醍醐味は、緊張感とストレス発散ですね。セカンドサーブの緊張感は高校生の時のままです。成長していくんですね。この年になつて、この緊張感、初々しさがないんだなあと思いつながら、調子のいい時は「当然!」悪いときは「お願いだから入ってきてください!」ペアの白い目が・・・なんて思いながらプレー。松岡修造の「テニスの王子様勝利学」は愛読しましたが、「この球は絶対無二の一球なり」という境地に達することができませんでした。

笑いと緊張と全身の心地よい疲労感に包まれて、ストレス発散に励んでいます。テニス歴18年超、プレースタイルは変化し続けます。これもまた醍醐味でしょうか。

亀の目標は？

一学年主任 上野 進

三遊亭歌乃介（旧肝属郡大根占町出身の落語家）という方を知っていますか。この方は、真打ちの試験の前後に「目標を失いかけた」そうです。真打ちの試験に合格したとき、同期に「林家こぶ平」さんがいました。この方はおじいさん、父親も真打ちで、落語会のサラブレットです。合格者はたったの二人でした。

合格発表の日、こぶ平さんのところにはマスコミが二七社群がつて来ました。一方、歌乃介さんのところには一人としてくるものではなく、「おめでとうござります」の一言もありませんでした。いたまれなくなつた歌乃介さんはバツグを抱えて楽屋から走つて逃げ、電車に乗り込んだとき、知り合いの社長さんに出会ひ、「暗い顔をしているが何があったのか？」と聞かれ、いまあつたことを全て話しました。すると次のような言葉が返つてきました。

「そんなことで暗くなつていたのか。

お前はばかだ。君の人生の目標はこぶ君か？」「いいえ、違います」「だったらいいじゃないか。ウサギとカメの話はもちろん知っているな。うさぎはどうして亀に負けたと思うか？」と聞かれて、こ

う答えました。

「油断があつたんです。亀はのろいので、いつでも抜けると思つていたんです。人は油断をしたらいけない、いましめです」と。すると社長さんはこう言うのです。「本当にそう思つていたら、一〇〇点満点中の〇点だ。亀は相手がウサギであろうが、ライオンであろうが誰でもよかつたはずだ。なぜなら、亀は相手を1



回も見てないんだよ。どこを見ていたんだ。旗の立つている頂上だよ。あそこに行くぞ、亀は全力を尽くして頂上だけを見て登つたんだよ。うさぎは山の頂上なんか見ていない。いつも亀のことしか見ていなかつたよ。まだ、あんなところだ。相手のことばかり気にして、たつた一度しか人生の目標を一回も頭に入れなかつた。だからうさぎは亀に負けたんじゃないかな。賢い亀になりなさい。目標をしっかりと頭に入れて、それに向かつて歩き続けるんだよ。どんなにきつい坂道にさしかかつても、止まつたらダメだよ。苦しいときに感謝、感謝の気持ちを持ちなさい。何と有難い坂道なんだ。俺を鍛えてくれているんじゃないか。感謝の気持ちを持つことだよ。有り難いという字は、難があるから有難いんだよ。その有難いの感謝の気持ちがあつたら、楽しくなつて、止まらずに歩き続けられるから。賢い亀になれ。」

歌乃介さんはこの言葉で目が覚め、本

来の目標を見失わずに済んだそうです。

新学期に立てた目標を再度確認してみてください。何のためにその目標を立てたのか、そして、その目標を達成するため、何をしたらしいのか念を入れて考え、その実現に向けて具体策を実行に移して欲しいと思います。

見える風景

進路指導部 川崎辰也

家族で初めての登山を体験しました。霧島連山の白鳥岳という山です。登山をするといつも、頂上にたどり着くには一歩ずつ歩みを進めるしか他に方法はないということを実感します。そして、子どもにはちよつと大きな足場を黙々と登る、五歳の息子の小さな後ろ姿を眺めながら、子どもの小さな一歩一歩でもいつか必ず頂上にたどり着くということに、なんだか新しい発見をしたような気持ちになりました。そんな初夏の霧島で、ふとAさんのことを思い出しました。

Aさんは九州大学へ進学した皆さんのが先輩です。三年進級当初は九州大学D判定。私も数学を指導することになったのですが、はつきり言つて現役での合格は厳しかなという感想でした。ところが、一ヶ月ほど指導していくうちにAさんに對する認識は全く違うものになりました。なんといっても難問に対する取組が他の生徒とは違いました。とにかく諦めない。そして模範解答をすぐに見ない。自分で様々な作業や考え方を試みるので、例えば「n=1のとき、n=2のとき、n=3のときはこうなるから、n=kのときはえーっと…」という感じで、一問を解くのに人の何倍も時間をかけて取り組んでいました。ところが、しばらくすると、解法への切り口や見通しの立て方が目に見えて変わってきたのです。そして、それに比例してみると力をつけていったAさんは、その春、見事第一志望の九州大学に現役で合格しました。

Aさんの取組は一見したところ遠回りに見えるかもしませんが、一つ一つの

失敗や挫折を経験しながら解答を摸索していくこのやり方が結果的には近道なのです。「ああ間違えた。正解はこうだったのか」と正解を知るだけでは何の効果もありません。うまくいく能書きをなぞつたところで、次もまた、同じ間違いをしてしまいます。失敗をしたときに必要なのは、「こうすればうまくいくのか」の「なぜ自分は間違えたのか？」という真摯な問い合わせなのです。登山も、受験も、人生も、目指しているものへ確実に通じる道が必ずあります。それは、いつも自分の足もとから続く道です。失敗を恐れ、立ち止まつたまま遠くを眺めていても何も変わりません。目指すものを手に入れるには、失敗して悔しい思いをしたり、挫折してくじけそうになつても、目の前の道を一步一步進むしかありません。頂上から見下ろす山が、登つていてる時からは想像できないほど清々しく美しい姿を見せるのと同様に、今過ごしている高校時代の風景は、時間が経つと全く違つた姿に変貌するのです。失敗も、苦しい経験も、悔しい思いも、みんなひっくり返つてすばらしい経験として命を吹き返すことでしよう。

さて、いよいよ長い夏休みがやつてきます。この夏まずは、目の前の一步を歩み出して欲しいと思います。もしその歩みの中で失敗や挫折と出会い、そしてそれを乗り越えることができたなら、二学期から君が見る風景は全く違うすばらしいものになつていることでしょう。充実した夏になることを祈っています。

健康は富にもまさる ～心も身体も自分次第～

保健部 若山 和佳子

年々健康意識が高まつてきている昨今。マスメディアの影響で、「健康に良い、〇〇予防に効果あり」とする商品はとぶように売れる状況。健康をテーマにしたTV番組や書籍も以前に比べて実に多い。生活習慣と疾病との因果関係は明らかであり、自らの健康は、自分自身でコントロールできるという考え方は定着しつつある。思春期後期～青年期へと成長を遂げようとしている生徒達は今、気力・体力共に一番充実している時期である。健康の基盤づくりの時期といえる。心身を鍛えながら、睡眠・栄養・運動のバランスよい生活を送る。この当たり前のことが意外と疎かになつたりする。体調不良の背景には「夕べ眠れなかつた」という生徒も少くない。生徒達の悩みも多種多様化し、情報化時代が問題を複雑にしているようだ。悩み、もがき、試行錯誤を繰り返す中で苦い経験もするだろう。人は生きていれば当然いろんな問題に直面する。ただ問題に直面したとしても幸か不幸かは本人の捉え方で決まる。次のエピソードをみんなはどう感じるだろうか。

1991年秋、台風が次々に上陸し青森県のリンゴが9割も落ちてしまつたことがあります。作つたリンゴが9割卖れない。リンゴ農家の人は肩を落として嘆き悲みました。しかし、嘆き悲しまなかつた人がいたのだそうです。大丈夫、大丈夫と。なんでも大丈夫なんでしょう？その人は落ちなかつたリンゴを「落ちない

ように売れる状況。健康をテーマにしたTV番組や書籍も以前に比べて実に多い。生活習慣と疾病との因果関係は明らかであり、自らの健康は、自分自身でコントロールできるという考え方は定着しつつある。思春期後期～青年期へと成長を遂げようとしている生徒達は今、気力・体力共に一番充実している時期である。健康の基盤づくりの時期といえる。心身を鍛えながら、睡眠・栄養・運動のバランスよい生活を送る。この当たり前のことが意外と疎かになつたりする。体調不良の背景には「夕べ眠れなかつた」という生徒も少くない。生徒達の悩みも多種多様化し、情報化時代が問題を複雑にしているようだ。悩み、もがき、試行錯誤を繰り返す中で苦い経験もするだろう。人は生きていれば当然いろんな問題に直面する。ただ問題に直面したとしても幸か不幸かは本人の捉え方で決まる。次のエピソードをみんなはどう感じるだろうか。



「P.H.P 7月号 幸せになる作法：作家 ひすいこたろう より抜粋」
起きる出来事や環境が幸・不幸を決めるのではない。自分の心次第。他律から自律へと社会へ巣立つ準備としても精神面の成長は欠かせない。生徒自身が自らの持つ力を信じて、心身のバランスを保つよう支援し、気軽に相談できる体制づくりに努めていきたい。

「P.H.P 7月号 幸せになる作法：作家 ひすいこたろう より抜粋」
起きる出来事や環境が幸・不幸を決めるのではない。自分の心次第。他律から自律へと社会へ巣立つ準備としても精神面の成長は欠かせない。生徒自身が自らの持つ力を信じて、心身のバランスを保つよう支援し、気軽に相談できる体制づくりに努めていきたい。

この一年間、周りの人々のありがたさを改めて感じ、自分と向き合い、多くの経験を積むことができました。後輩のみなさんも加治木高校の長い伝統と寛容さの中で「自分らしさ」を追究して下さい。

今まで本当にありがとうございました。
願つて。
私は、目前にある現実から逃げずに生きてゆく。今、この瞬間も精一杯生きていきたいと思う。
いつか、確たる自己を獲得できる日を

「P.H.P 7月号 幸せになる作法：作家 ひすいこたろう より抜粋」
起きる出来事や環境が幸・不幸を決めるのではない。自分の心次第。他律から自律へと社会へ巣立つ準備としても精神面の成長は欠かせない。生徒自身が自らの持つ力を信じて、心身のバランスを保つよう支援し、気軽に相談できる体制づくりに努めていきたい。

この思いから始まつた私の生徒会長としての日々。振り返つてみると、生徒会全体では学校行事の運営、地域のボランティア活動、養護学校との交流会、また生徒会長としては入学式や体育祭での挨拶、龍門講壇・芸術鑑賞会での感想・お礼の言葉など、様々な活動をしてきました。

私は今までの会長経験者の先輩と違い、「会長」という貴禄がなかつたため「会長らしくない会長だ」と言われたこともありました。しかし「自分らしさ」を大切にしたいと思っていた私は「明るく、元気に、笑顔で」を何よりも心がけて活動してきました。そんな私が生徒会長として最後までマイナスに見える局面の中にも必ずプラスはあります。問題はあなたがどちらを見るかにかかっているんですね。

「P.H.P 7月号 幸せになる作法：作家 ひすいこたろう より抜粋」
起きる出来事や環境が幸・不幸を決めるのではない。自分の心次第。他律から自律へと社会へ巣立つ準備としても精神面の成長は欠かせない。生徒自身が自らの持つ力を信じて、心身のバランスを保つよう支援し、気軽に相談できる体制づくりに努めていきたい。

大好き、加治木高校

前生徒会長 細山田 捩見

生徒会長 西 創史郎

確たる自己と自由
「人間は自由の刑に処せられている。」
フランスの実在主義哲学者サルトルの述べた言葉だ。

実在としての人間は、全く自由であるために、選択・決定といった行為の一切の責任を自分一人で背負つていて。つまり、自由であることがかえつて重荷となつているということである。

では、私達がその重荷を背負い、右往左往せずに済むにはどうすればよいのかと、ふと思つた。それは確たる自己を確立する以外にないだろう。それなら、一体、確たる自己とはどうやつて手に入れることができるのだろうか。私は人生に對して、積極的に関わつていくことだろうと思う。

私は、これから歩んでいく人生の中で残酷な現実を突きつけられ、足を止めてしまうこともあるだろう。だが、そんなときこそ、その残酷な現実と向き合わなければならない。どうにかこうにか生きていかなくてはならない。模索し、試行錯誤し、傷つけられる中でしか本当の強さは生まれれないからだ。決して、辛く、苦しい痛みから目を背けてはならないのである。トレーニングの場において痛みを避けることができないよう、人生に對しても辛さや苦しみに積極的にぶつかることが必要なのだ。そうすることであつたことは、自分らしくいたから、どんな仕事にも積極的に取り組み、心からやりがいを感じることができたのだと思います。そんな「自分らしさ」を認めてくれる加治木高校を、ますます誇りに思い、愛すら感じています。

この一年間、周りの人々のありがたさを改めて感じ、自分と向き合い、多くの経験を積むことができました。後輩のみなさんも加治木高校の長い伝統と寛容さの中で「自分らしさ」を追求して下さい。

部活動大会参加 及び入賞記録

('13.7. 現在)

▽	剣道	60kg	66kg	柔道級	100kg	50kg	50kg	水泳	女子	3段	走幅跳	走幅跳	やり投げ	400m	400m
男子団体	女子団体			道級	m	m	m	泳	子	跳	跳	R	m	200m	100m
男子団体	女子団体			級	個	人	自由泳	800M	800m	宮田	宮田	出之口	山中城	黒木	黒木
準優勝	準優勝									堀	堀	城	位	白濱	白濱
3位	3位									ノ	藤	1位	3位	3位	3位
3位	3位									森	1位	2位	1600m	1位	1位
1位	1位									山	2位	2位	R	村	川
1位	1位												1位	2位	

女子優勝

▽テニス	男子D	石勝・阿部	3位
女子S	西山	準優勝	
女子団体	優勝		
女子D	上園	上村	3位
女子	西山・上園	優勝	
男子	森下	寺田	優勝
女子	藤田	3位	
男子	本坊	準優勝	
女子	優勝		
△ラグビー			
△山岳			
△ダンス	優秀賞		
△サッカー	3回戦		
△ハンドボール			
△卓球			
男子団体ベスト			
女子団体ベスト			
男子D	男子ベスト8	総合選手権ベスト8	
男子S	中村・遠矢	3回戦	
三段跳	宮田	2位(南九州大会出場)	
やり投	中城	3位(南九州大会出場)	
m m	白濱	準決勝出場	
黒木・山本	準決勝出場		
400 100			
△陸上			
3段跳			
やり投			
m m			
黒木・山本			

文化部門

吹奏楽部
県吹奏樂コンクール 金賞
第1回伊佐・姶良地区高校ソロアンサンブルコンテスト
最優秀賞 サックス四重奏
優秀賞 金管八重奏2団体
クラリネット五重奏
打樂器六重奏
コントラバスソロ 1名
優秀賞

県高校音楽コンクール
弦楽部門 金賞 木管樂器部門 金賞
ピアノ部門 金賞 宮日音樂コンクール 管樂器部門
最優秀賞 橋口夏鈴

演劇部
始良・伊佐地区大会 最優秀賞
文芸部

文芸部 文芸専門部 鹿児島県大会 文芸部誌部門 優秀賞

第63回県高校美術展

KYT鹿児島読売アーベン賞 千龜佐保
（平成25年度全国総合文化祭、県代表に選抜）

秀作賞
獎勵賞
南蘭亞美·中鹽菜月
香 東蓮 五 裏之

南日本ジユニア展 優秀賞 迫田菜美
持選 南蘭西美 中塩菜弓

人権尊重ボスター・コンクール
特選 山下葉月

入選
春
京華

第65回鹿児島県書道展（硬筆・毛筆の部）